・配震補助制度を拡充



活断層があります。 市内には、 「高山・大原断層帯」 などの

います。 の大地震の発生する可能性が高いとして この断層帯は今後30年以内に震度6以上 国の地震調査委員会では全国の中でも、

らなければなりません。 たちは、そのとき大切な家族や財産を守 大地震は、 他人事ではありません。 私

制度を今年度さらに拡充しました。 宅などの耐震診断と耐震補強工事の 市では、 安全なまちづくりの ため、 補 住 助

3万7千棟以上の家屋に被害想定

とで、人的被害を大幅に少な 予想されています。 被害は建物被害3万7千棟以 上、人的被害千五百人以上と 大原断層帯の地震による市の しかし建物の倒壊を防ぐこ 県の試算によれば、高山

ます。 震では、 物の耐震性が問題となって 倒壊例が多く、 法改正前に建てられた住宅の くすることは可能です。 阪神淡路大震災などの大地 昭和56年の建築基準 特に木造建築

震診断と、 めにも、ぜひこの制度をご利 の地震に対する強度を測る耐 して補助しています。 このため、 大切な家族や財産を守るた 耐震補強工事に対

市では住宅など

拡 耐 助制 度

木造住宅耐震補強…最大180万円: 戸建 (て木造住宅の耐震診断…無料 補

助

無料耐震診断

岐阜県木造住宅耐震相談士

が設計・監理を行うもの

ご利用ください。 月から実施しますので、 料で耐震診断を行う事業を6 所有している方を対象に、 市内に一戸建て木造住宅を ぜひ

■申込方法

(補助要件)

市内に一戸建ての木造住宅 を所有している方

市税に滞納がない方

| 木造住宅耐震補強

補助額を180万円に

ださい。 フォーム工事を伴うことも可 ましょう。 能ですので、事前にご相談く 工事が必要と診断された場合 耐震診断の結果、 耐震補強工事を実施し 一定の増築やリ 耐震補強

補助要件

耐震診断の結果、 要であるもの 補強 が必

■木造住宅耐震工事

昨年度まで 補助対象限度額120万円 補助率 10/10 補助限度額 120万円

_____ 今年度から

所定の強度が確保できる計

画であるもの

市税に滞納がない方

補助対象限度額180万円 補助率 10/10 補助限度額180万円 ※奨励金を含む

■耐震診断(一戸建て住宅)

昨年度まで 補助対象限度額3万円 補助率 2/3 補助限度額 2万円

今年度から

無

料

備課までお問い合せください

必要です。詳しくは、

都市整

所定の申込書での手続きが

2008.5.15